

## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評 : 過去2年間に出版された、本会会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート : 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本会会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本会会員に限ります。

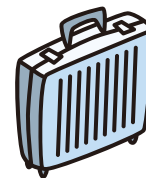
3. 応募の手続き

- 1) 表題 : 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先 (住所、E-mail、Fax など) の記載を忘れずに。
- 3) 本文 : 書評は1,500字以内または3,000字以内 (1または2ページ)、会議レポートは2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆のご案内 / 書評・会議レポート」  
(<https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>) を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会 / 応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp)



## IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数 : 約29,000通 (原則毎週月曜日配信)
- 読者層 : 本会会員および非会員
- 形式 : テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置 : ヘッダ (目次の上)  
フッタ (本文の最下行)
- 掲載料 : ヘッダ : 1回50,000円 (税込54,000円) ※3社限定  
フッタ : 1回20,000円 (税込21,600円)  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先 : [広告代理店]  
アドコム・メディア (株) E-mail: [sales@adcom-media.co.jp](mailto:sales@adcom-media.co.jp)  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Tel(03)3518-8371
- 申込締切 : 毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本 :  
— [広告] —  
■■■■ ○○セミナー ■■■■  
開催日時 : 1月10日 (火)・11日 (水)・12日 (木) 13:00 ~ 17:00  
会場 : ○○コンベンションセンター  
会費 : 情報処理学会会員の方には割引があります。  
詳細はこちらをご覧ください : <http://www.....com/>

— [広告] —



2015年9月号から  
約4年間連載していた  
IT日和ですが...

**今回が  
最終回です**

毎回ネタを  
提供してくださった  
読者のみなさん  
**ありがとう  
ございました**

編集会議でよく配られる  
某シウマイ弁当  
紅生姜が良い仕事



ついに  
この日が  
きたか!

**ガーン**

連載当初は  
4コマをどう  
レイアウトしたら  
いいか話し合ったり

LINEスタンプ  
企画にも参加させて  
もらったり...

走馬灯  
読者コメント  
ちゃんと  
見てました。  
送ってくれた  
人たちの  
ありが  
たさ  
思い出が  
いっぱい...

思い出が  
いっぱい...

で 山本さん  
次の漫画企画  
ですが  
「紀行もの」は  
どうでしょう?



**次あるんだ!?**

というわけでIT日和は次回から  
IT紀行(仮)として新たに  
連載を開始します!

情報処理編集部と山本に取材してほしい  
人・場所・イベントなどを大募集中です!  
取材に同行してほしい編集委員を  
ご指名いただいても構いません!  
(必ず希望通りにいくかは分かりません。  
ご了承ください!)

★Twitterハッシュタグ  
**#IPSJ\_IT紀行**



★WEBフォーム  
<https://www.ipsj.or.jp/contact/kaishi.html>

★メールアドレス  
editj@ipsj.or.jp



来月掲載の第1回は  
「盛り」を研究する  
久保友香先生に  
お話を伺ってきました!  
ご期待!!



## ＜会誌編集委員会＞

編集長 稲見 昌彦

副編集長 大山 恵弘 加藤 由花 中田眞城子

担当理事 楠 房子 清水 佳奈

編集委員 井本 和範 江渡浩一郎 大石 康智  
 大川 徳之 太田 智美 川上 玲  
 佐藤 史子 城島 貴弘 須川 賢洋  
 田名部元成 鳥澤健太郎 福地健太郎  
 坊農 真弓 水野加寿代 茂木 和彦  
 湯村 翼

### (会員サービス分野／MWG)

主 査 谷田 英生  
 幹 事 樺 惇志  
 委 員 荒 宏視 伊藤 将志 上田 俊  
 鶴川 始陽 大岸 智彦 大見 嘉弘  
 米谷 雄介 杉山 弘晃 角尾 晋一  
 中澤 里奈 真野 健 森田 一  
 山本 岳洋 山本 祐輔 若林 啓

### (教育分野／EWG)

主 査 坂東 宏和  
 幹 事 斎藤 俊則  
 委 員 稲葉利江子 井上 仁 上松恵理子  
 岡本 雅子 小原 格 角田 博保  
 久野 靖 小林 真也 関谷 貴之  
 高橋 尚子 古川 雅子 三石 大  
 宮崎 誠 渡辺 博芳

### (アプリケーション分野／AWG)

主 査 金子 格  
 幹 事 袖 美樹子 真部 雄介  
 委 員 青木 秀一 伊川 雅彦 石井 亮

石黒 正揮 小出 誠二 佐々木貴之  
 末永 高志 田中 功一 平林 光浩  
 藤田 昌克 古川 諒 吉村 剛

### (システム分野／SWG)

主 査 間瀬 正啓  
 幹 事 河原 亮  
 委 員 穂山 空道 伊藤 香織 大島 浩太  
 落合 秀也 合田 和生 坂本 龍一  
 佐藤未来子 高井 康勢 瀧田 悠一  
 竹中 崇 広測 崇宏 福田 茂紀  
 米川 慧

### (基礎・理論分野／FWG)

主 査 戸田 貴久  
 幹 事 長尾 篤樹  
 委 員 青谷 知幸 牛田 啓太 桑名 杏奈  
 佐々木勇和 白銀 純子 高木 拓也  
 谷口 徹 野ヶ山尊秀 平山 貴司  
 矢部 顕大

### (次世代分野／NWG)

主 査 中田眞城子  
 幹 事 畑田 裕二  
 委 員 太田 智美 長倉 克枝

### (特別解説分野／SCWG)

主 査 金子 格  
 幹 事 石黒 正揮 須川 賢洋  
 委 員 板倉陽一郎 上原哲太郎 楠 正憲

# 各賞表彰等(概要)

詳細は Web サイト ([https://www.ipsj.or.jp/award/sho\\_index.html](https://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html)) をご覧ください

## 2019 年度 IPSJ/IEEE-Computer Society Young Computer Researcher Award

本年の受賞者は、両学会より推薦された候補者より、賞選定手続きに基づいて両学会による賞選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認(2019年2月22日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て決定されました。

授賞式に先立ち、2019年3月15日に開催された第81回全国大会表彰式において受賞者の発表が行われ、受賞者には、本会表彰規程により、6月5日に開催されたIEEE-CS Board of Governors (BoG) 表彰式において、表彰状が授与されました。

- 「Outstanding Research on Real-time Learning Analytics」  
島田 敬士 君 (正会員)
- 「Outstanding Research on Zero-shot and Few-shot Unobtrusive Context Recognition for Pervasive Computing」  
前川 卓也 君 (正会員)

## 2019 年度 IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research

本年の受賞者は、両学会より推薦された候補者のうち、論文実績や Global Research の観点で候補者を絞り、賞選定手続きに基づいて ACM 代表者を含む賞選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認(2019年2月22日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる)を得て決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、3月15日に開催された第81回全国大会表彰式において、表彰状が授与されました。受賞者は6月15日開催の ACM Award Banquet に招待されました。

- 「Research on Mining Software Repositories (MSR) to Improve Software Quality Assurance」  
亀井 靖高 君 (正会員)

## 第 81 回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞の表彰

去る 2019 年 3 月 14 日～16 日に福岡大学 七隈キャンパスにおいて開催いたしました第 81 回全国大会の大会優秀賞・大会奨励賞は「大会優秀賞・大会奨励賞候補者選定手続き」規程に基づき、下記の通り受賞者を決定しました。

### 【大会優秀賞】

- 「「一帯一路」構想による中国化のデータ駆動型実証研究—グローバルな株式所有関係のネットワーク分析—」  
小高 充弘 君
- 「パーソナルデータエコシステムにおけるメディアータの概念整理」  
加藤 綾子 君
- 「軽量暗号と秘密分散によるデータ共有方式」  
小林 聖哉 君
- 「車両移動による無線チャネル状態情報の変化を利用した高精度な歩行者測位法」  
駒宮 亘 君
- 「身体移動情報を基としたボルダリングコース自動生成システム「コース見つけた郎」」  
近藤 拓弥 君
- 「広告事業者のオプトアウトに対する態度：GDPR 前後の比較から」  
坂本 一仁 君
- 「スマートフォン搭載の加速度センサーを用いた 2 クラスの分類によるユーザー推定」  
佐藤 悠祐 君

- 「対話相手への好感に基づく発話構成要素の選択とお見合い対話システムへの実装」  
田中 滉己 君
- 「DNCL のオンラインプログラミング学習環境「どんくり」の開発」  
本多 佑希 君
- 「pix2pix を用いたデジタルイラスト制作におけるレイヤ分け作業の自動化」  
渡邊 優 君

### 【大会奨励賞】

- 「潜在的ディリクレ配分法を用いたテキスト含意認識のモデル」  
風間健太郎 君
- 「ブロックチェーン上のスマートコントラクトを利用した NTMobile システムの基礎的検証」  
木村 信裕 君
- 「複数アクセスポイントを用いた電波による位相制御協調電力伝送の実装と評価」  
濱政 光 君
- 「複数のマイクロホンアレイを搭載した複数の UAV による移動音源の三次元追跡」  
山田 泰基 君
- 「漸化式を用いた組み込み機器向け電子ホログラフィ専用計算機の開発」  
山本 洋太 君
- 「日照および天候情報を考慮した快適経路案内システム「WeatheReal Map」」  
山本 玲 君



今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「小説工学」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■小説家や漫画家を書く巻頭コラムの内容が新鮮だと感じました。(井上勢大/ジュニア会員)

特別解説「学校へのスマートフォン持ち込み禁止見直し議論の背景」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■教育の大きな転換期に来ているのだと感じた。デジタル機器を道具として、考える力・想像する力を養えるように導くことが、今の先生方に求められているのではないかと。(匿名希望)

■スマートフォンの学校への持ち込みを認めざるを得ない現在の状況では、積極的に活用し適切な使い方を身に付けさせる必要があるという点は同感です。授業にも積極的に使うならば、たとえば、専用アプリなどを常に画面表示させ、簡単な質問などに答えられるようにすると、授業中にこっそりとゲームやSNSをするのも防げるのではないかと思ったりもしました。(匿名希望)

特集「オープンサイエンスの動向と情報科学の役割」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■オープンサイエンスが進むことで、Peer レビューの仕組みなど研究成果が論文として発表されるプロセスなどにも変化が現れるのか気になりました。(上野崇宏/ジュニア会員)

■IT を活用した市民科学や情報科学の分野でのオープンサイエンスの取り組みなども今後紹介していただけるとよいと思います。(米澤 恵)

#### 「4. 学術機関向け全国的な研究データ管理サービス」

■永続性が重要なシステムで、すぐに陳腐化する枝葉末節な内容の紹介が多々見られる。(岡本 東)

#### 「5. シチズンサイエンスから共創型イノベーションへ」

■このような取り組みは研究活動に限らず、ビジネスの現場でも数多くの事例が出てくることを期待しています。働き方改革や生産性向上の視点から、あらためて特集してほしいテーマと思います。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

#### 「高等教育機関等における ICT 利活用の実態」

■国立高専では BlackBoard が広く活用されており、他種の教育機関も同様なのかと想像していたから、調査結果には少し驚いた。活用方法にもさらに踏み込んで調査してほしい。

(角田洋太郎/ジュニア会員)

■高等教育機関における ICT 利活用についての記事は継続的にレポートしてほしいと感じています。特に LRS、ラーニングアナリティクス領域での動向が気になっています。

(匿名希望)

#### 「SNS を利用した学習環境」

■冒頭で「電車内での高校生の行動の違い」について提起しているような書き方なのに、続く結論がない。単なる著者の素朴な疑問であるなら不要な文であり、もっと構成を練れたと思う。(匿名希望)

解説「正しい分析結果を導くためのデータ前処理」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■データ研磨が必要な具体的な事例が参考になった。

(匿名希望)

連載「5分で分かる!? 有名論文ナメ読み: Peter Bailis et al.: MacroBase: Prioritizing Attention in Fast Data」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ポイントとして挙げられている3つの技術要素(p.445)を導入した動機(背景となる課題)や効果があまり理解できなかった。(匿名希望)

連載「情報の授業をしよう! 『情報のデジタル化』の指導例」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■情報の授業の特集、とても嬉しいです。今回の佐藤先生の記事、事例がたくさん共有されていて、とてもよいと思いました。(匿名希望)

■都立立川高校の現場の先生の授業内容に感動しました。同時に、高校間の情報の授業格差が大きそうだと思います。別の都立高校のあまりに貧弱そうな情報の授業内容に、危機感を覚えていたので、万遍なく立川高校の先生のような授業が行われてほしいと強く思いました。そのきっかけを学会が作れることは素晴らしいことだと思います。(匿名希望)



連載「集まれ!ジュニア会員!!」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ URL の記載が多く、紙面だけでは情報量が少ないように思いました。参考文献への URL 記載も増えていますが、紙面よりも PC / スマートデバイスの閲覧が向いている記事には QR コードなどを載せて、紙と IT を自由に行き来できるのもよいと思いました。(匿名希望)

リレーコラム「私のウェアラブル生活」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ どのようなことが起こったのかを知ることができて面白いと思いました。続編を読みたいです。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ 技術的な話だけではなく、その技術を応用してどのようなサービスがあるのかも知りたいと思った。大学でどのような研究をしているのかの記事も読んでみたい。(匿名希望 / ジュニア会員)

■ 子どもでも分かる記事が欲しい。(大沼和佳那 / ジュニア会員)

■ 最新技術を使った Web 開発を取り上げてほしいです。(匿名希望 / ジュニア会員)

■ セキュリティ関連がテーマの記事を読みたい。(匿名希望 / ジュニア会員)

■ 各記事に指標を記号で示すより、分野別 (たとえば教育とか医療) 等にしていいただければと感じます。(匿名希望)

■ 挫折とか壁にぶつかったときの対処などモチベーションが上がるような内容を読みたいです。(匿名希望)

■ 巻頭コラムのあまり面白くないパターンとして「最近の情報処理のトピックにあまり理解がない」「話が大局的すぎる」ものがある。情報処理関連の研究分野に理解がある方に、テーマを限定せず趣味の話などを中心に書いていただくのがよいと思う。(岡本 東)

■ 近年では、感性工学や認知工学の分野に興味がありますので、取り上げていただけたら幸いです。(坂入威郎)

■ 「情報の授業をしよう!」に期待しています。「正しい分析結果を導くためのデータ前処理」「私のウェアラブル生活」は可能であれば続編があればよいのと思っています。(滝内邦弘)

■ 動画投稿サイトで使用されている MMD や、ボーカロイドなど、専門家ではない人でも扱えて、多くの人が使っているものに対する専門家の意見や見解。(永江毘加里 / ジュニア会員)

■ ジュニア会員向けの論文寄稿スペースがあってもいいのではないかと。(國武悠人 / ジュニア会員)

■ 「SNS を利用した学習環境」のような今話題になっている事柄を情報処理の観点から切り込む記事がもっとたくさんあれば嬉しい。(坂元 翔 / ジュニア会員)

■ 初めて会誌を読みました。とても興味深い内容でこれからも読みたいです。(松岡 航 / ジュニア会員)

【本欄担当 杉山弘晃, 中澤里奈 / 会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後より良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。< URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375

<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



# IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 <a href="https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-H.html">https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-H.html</a>	8月1日(木)		
	論文誌「情報システム論文」特集への論文募集 <a href="https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-P.html">https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-P.html</a>	8月9日(金)		
	論文誌「"Applications and the Internet" in Conjunction with Main Topics of COMPASAC2019」特集への論文募集 <a href="https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-V.html">https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-V.html</a>	10月25日(金)		
	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集 <a href="https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-T.html">https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-T.html</a>	11月15日(金)		
7月17日(水)～	第113回ドキュメントコミュニケーション研究発表会	5月17日(金)	当日のみ	筑波大学 計算科学研究センター
7月18日(木)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dc113.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dc113.html</a>			愛知県立大学 学術文化交流センター
7月18日(木)	東海支部 講演会「光海底ケーブルのひみつ」 <a href="https://www.ipsj-tokai.jp/">https://www.ipsj-tokai.jp/</a>			風鈴屋 (新潟県月岡温泉)
7月19日(金)～	第128回音声言語情報処理研究発表会	5月13日(月)	当日可	
7月20日(土)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp128.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp128.html</a>			
7月19日(金)～	第42回ゲーム情報学研究発表会	6月11日(火)	当日のみ	北海道大学
7月20日(土)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi42.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi42.html</a>			札幌キャンパス
7月22日(月)～	第184回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	5月24日(金)	当日のみ	北海道大学
7月23日(火)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci184.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci184.html</a>			百年記念会館
7月23日(火)～	第86回コンピュータセキュリティ・	5月10日(金)	当日のみ	高知工科大学
7月24日(水)	第34回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec86spt34.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec86spt34.html</a>			永国寺キャンパス
7月24日(水)～	第170回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 (SWoPP2019)	5月10日(金)	当日のみ	北見市民会館
7月26日(金)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc170.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc170.html</a>			
7月24日(水)～	第229回システム・アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP2019)	5月10日(金)	当日のみ	北見市民会館
7月26日(金)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc229.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc229.html</a>			
7月24日(水)～	第147回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 (SWoPP2019)	5月10日(金)	当日のみ	北見市民会館
7月25日(木)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os147.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os147.html</a>			
7月25日(木)～	第125回プログラミング研究発表会 (SWoPP2019)	5月10日(金)	当日のみ	北見市民会館
7月26日(金)	<a href="https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2019-2/">https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2019-2/</a>			
7月28日(日)	関西支部 2019年度セミナー「小中学生のための情報科学教室」 <a href="http://kansai.ipsj.or.jp/2019schoolchildren/">http://kansai.ipsj.or.jp/2019schoolchildren/</a>		7月18日(木)	近畿大学 東大阪キャンパス
7月29日(月)	第124回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps124.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps124.html</a>		当日のみ	Luxor "MGM Resorts International" (ラスベガス)
7月29日(月)～	第22回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2019)	6月3日(月)	当日可	グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)
8月1日(木)	<a href="http://cvim.ipsj.or.jp/MIRU2019/">http://cvim.ipsj.or.jp/MIRU2019/</a>			
7月30日(火)	連続セミナー 2019第2回「トラスト時代におけるセキュリティ技術」		定員になり次第	化学会館/大阪大学 中之島センター/東北大学 電気通信研究所
	<a href="https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program02.html">https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program02.html</a>			慶應義塾大学 日吉キャンパス
8月1日(木)	第121回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch121.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch121.html</a>	6月24日(月)	当日のみ	東京大学駒場キャンパス
8月1日(木)	教員免許更新講習【選択】 テキスト型言語による プログラミングの学ばせ方 <a href="https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2019.html">https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2019.html</a>		定員になり次第	東京大学駒場キャンパス
8月2日(金)	教員免許更新講習【選択】 高校における情報教育と情報科の現状 <a href="https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2019.html">https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2019.html</a>		定員になり次第	東京大学駒場キャンパス
8月8日(木)	教員免許更新講習【選択】 プログラミング体験に適した処理系とその特徴 <a href="https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2019.html">https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2019.html</a>		定員になり次第	大阪大学豊中キャンパス
8月17日(土)～	情報教育シンポジウム2019 (SSS2019)	5月24日(金)	当日可	大阪電気通信大学
8月19日(月)	<a href="https://ce.eplang.jp/index.php?SSS2019">https://ce.eplang.jp/index.php?SSS2019</a>			
8月22日(木)～	2019年度電気関係学会東北支部連合大会	6月17日(月)		秋田大学手形キャンパス
8月23日(金)	<a href="http://www.eeci.tohoku.ac.jp/tsjc/">http://www.eeci.tohoku.ac.jp/tsjc/</a>			
8月23日(金)	第149回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is149.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is149.html</a>	7月1日(月)	当日のみ	東京電機大学 東京千住キャンパス
8月23日(金)～	第10回アクセシビリティ研究発表会	7月3日(水)	当日のみ	早稲田大学
8月24日(土)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac10.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac10.html</a>			西早稲田キャンパス
8月26日(月)～	第63回ユビキタスコンピューティングシステム・	7月16日(火)	当日のみ	豊橋技術科学大学
8月27日(火)	第15回高齢社会デザイン合同研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi63asd15.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi63asd15.html</a>			(付属図書館マルチプラザ)
8月26日(月)～	第124回音楽情報科学研究発表会	7月8日(月)	当日のみ	静岡文化芸術大学
8月28日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus124.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus124.html</a>			
8月28日(水)～	The 14th International Workshop on Security (IWSEC 2019)	3月15日(金)		Multi-Purpose Digital Hall, Ookayama Campus, Tokyo Institute of Technology, Tokyo, Japan
8月30日(金)	<a href="https://www.iwsec.org/2019/index.html">https://www.iwsec.org/2019/index.html</a>			
8月28日(水)～	DA シンポジウム2019—システムとLSIの設計技術—	6月21日(金)	7月20日(土)	山代温泉 ゆのくに天祥
8月30日(金)	<a href="http://www.sig-sldm.org/das/">http://www.sig-sldm.org/das/</a>			
8月29日(木)～	第92回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・	7月1日(月)	当日のみ	葉山港管理事務所
8月30日(金)	第26回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl92cnds26.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl92cnds26.html</a>			
8月29日(木)～	第214回自然言語処理研究発表会	7月23日(火)	当日のみ	小樽商科大学
8月30日(金)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl241.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl241.html</a>			
8月29日(木)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2019 (SES2019)			工学院大学 新宿キャンパス
8月31日(土)	<a href="http://ses.sigse.jp/2019/">http://ses.sigse.jp/2019/</a>			
8月31日(土)～	2019年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会	7月18日(木)		石川工業高等専門学校
9月1日(日)	<a href="http://2019.jhes.jp/">http://2019.jhes.jp/</a>			
9月3日(火)～	FIT2019 第18回情報科学技術フォーラム			岡山大学津島キャンパス
9月5日(木)	<a href="https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/">https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/</a>			

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月4日(水)～ 9月5日(木)	第218回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim218.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim218.html</a>	7月5日(金)	当日のみ	岡山大学津島キャンパス
9月4日(水)～ 9月6日(金)	The 25th International Conference on Collaboration Technologies and Social Computing (CollabTech 2019) <a href="http://www.collabtech.org/">http://www.collabtech.org/</a>	4月20日(土)		Kyoto Research Park, Kyoto, Japan
9月5日(木)～ 9月6日(金)	組込みシステムシンポジウム2019 (ESS2019) <a href="http://www.sigemb.jp/ESS/2019/">http://www.sigemb.jp/ESS/2019/</a>			下呂温泉 水明館
9月6日(金)	第78回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its78.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its78.html</a>	7月1日(月)	当日のみ	サニー貸会議室 401会議室 (東京都千代田区)
9月9日(月)～ 9月10日(火)	令和元年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 <a href="http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo-2019/">http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo-2019/</a>	7月16日(火)		大同大学(名古屋市)
9月10日(火)	第169回データベースシステム・ 第136回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs169ifat136.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs169ifat136.html</a>	7月10日(水)	当日のみ	工学院大学 新宿キャンパス
9月17日(火)	第174回アルゴリズム研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al174.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al174.html</a>	7月22日(月)	当日のみ	信州大学 長野(工学)キャンパス
9月19日(木)～ 9月20日(金)	第106回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm106.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm106.html</a>	7月10日(水)	当日のみ	新潟大学駅南キャンパス 「ときめいと」
9月19日(木)～ 9月20日(金)	第47回インターネットと運用技術・ 第35回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot47spt35.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot47spt35.html</a>	7月19日(金)	当日のみ	広島大学 東千田キャンパス
9月19日(木)～ 9月20日(金)	第171回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc171.html">https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc171.html</a>	7月19日(金)	当日のみ	国立情報学研究所 12F会議室
9月19日(木)～ 9月20日(金)	第180回マルチメディア通信と分散処理・ 第85回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps180eip85.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps180eip85.html</a>	8月2日(金)	当日のみ	石川県政記念 しいのき迎賓館
9月20日(金)～ 9月22日(日)	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2019) <a href="http://ec2019.entcomp.org/call-for-papers/">http://ec2019.entcomp.org/call-for-papers/</a>	7月5日(金)	当日のみ	九州大学 大橋キャンパス
9月21日(土)	令和元年度電気関係学会四国支部連合大会 <a href="https://www.sjciee.org/">https://www.sjciee.org/</a>	7月26日(金)		新居浜工業高等専門学校 (愛媛県)
9月23日(月)	2019年度関西支部 支部大会 <a href="http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2019/">http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2019/</a>	6月14日(金)		大阪大学中之島センター
9月26日(木)	連続セミナー 2019第3回「AIと歩む未来(2): 画像・映像処理の最前線」 <a href="https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program03.html">https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program03.html</a>		定員になり次第	化学会館/大阪大学 中之島センター/東北大学 電気通信研究所
9月27日(金)～ 9月28日(土)	2019年度(第72回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 <a href="http://www.jceee-kyushu.jp/">http://www.jceee-kyushu.jp/</a>	7月9日(火)		九州工業大学 戸畑キャンパス
10月25日(金)	連続セミナー 2019第4回「AIと歩む未来(3): 画像・映像処理の最前線」 <a href="https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program04.html">https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program04.html</a>		定員になり次第	日本大学理工学部/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学電気通信研究所
10月26日(土)	令和元年度(第70回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 <a href="http://rentai-chugoku.org/">http://rentai-chugoku.org/</a>	8月21日(水)		鳥取大学 鳥取キャンパス
11月4日(月)～ 11月6日(水)	The 12th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2019) <a href="http://www.icmu.org/icmu2019/">http://www.icmu.org/icmu2019/</a>	5月24日(金)		Soaltee Hotel, Kathmandu, Nepal
11月8日(金)～ 11月10日(日)	ゲームプログラミングワークショップ2019 (GPW-19) <a href="https://www.logos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tsuruoka/sig-gi/gpw/2019/">https://www.logos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/~tsuruoka/sig-gi/gpw/2019/</a>	7月22日(月)	当日可	箱根セミナーハウス
11月11日(月)～ 11月13日(水)	第27回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2019) <a href="https://www.dpsws.org/2019/">https://www.dpsws.org/2019/</a>	7月19日(金)		登別温泉 登別万世閣
11月15日(金)	連続セミナー 2019第5回「シミュレーションと人工知能」 <a href="https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program05.html">https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program05.html</a>		定員になり次第	化学会館/大阪大学 中之島センター/東北大学 電気通信研究所
12月9日(月)	連続セミナー 2019第6回「IT分野の研究開発動向を俯瞰する」 <a href="https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program06.html">https://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2019/program06.html</a>		定員になり次第	国立研究開発法人科学 技術振興機構/ 大阪大学中之島センター/ 東北大学電気通信研究所

## 2020年

1月15日(水)～ 1月17日(金)	International Conference on High Performance Computing in Asia Pacific Region (HPCAsia2020) <a href="http://sighpc.ipsj.or.jp/HPCAsia2020/">http://sighpc.ipsj.or.jp/HPCAsia2020/</a>			アクロス福岡
3月5日(木)～ 3月7日(土)	情報処理学会 第82回全国大会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/82/">https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/82/</a>			金沢工業大学 扇が丘キャンパス
3月9日(月)～ 3月11日(水)	インタラクシオン2020 <a href="https://www.interaction-ipsj.org/2020/">https://www.interaction-ipsj.org/2020/</a>	10月21日(月)	当日可	学術総合センター内 一橋講堂

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

### [トピックス]

6月17日	令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者推薦募集
6月15日	人材募集情報 (Vol.60 No.7)
6月15日	会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.60 No.7)
6月14日	2019年度情報処理学会フェロー候補者推薦募集
6月14日	論文誌「Applications and the Internet」 in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2019」特集論文募集
6月13日	2019年度定時総会について
6月6日	会長就任にあたって
6月3日	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集論文募集



# 人材募集 (有料会告)

**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書に記載する「宛名」, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ, E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 税抜 20,000円 (税込 21,600円)

賛助会員 (企業) 税抜 30,000円 (税込 32,400円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000円 (税込 54,000円)

\*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 税抜 4,000円 (税込 4,320円) で同一内容を本誌 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内(土日祝日除く)に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

## \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■警視庁特別捜査官

#### 採用予定人員

- (a) 科学捜査官 (化学): 警部補 (3級職) 若干名
- (b) 科学捜査官 (電気電子): 警部補 (3級職) 若干名
- (c) サイバー犯罪捜査官: 警部補 (3級職) 3名程度 / 巡査部長 (2級職) 5名程度

※財務捜査官の採用予定については, 警視庁採用サイト (<https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/saiyo/31/>) をご覧ください

#### 職務内容

- (a) 医薬品等の製造工程・成分・流通経路の解明, 医療・美容・毒物劇物・感染症事案における違法行為の解明等, 医事・薬事・公衆衛生事犯の科学捜査等
- (b) 電子情報機器の解析及び解析ツールの開発, 科学捜査, 捜査用資器材の開発等
- (c) サイバー犯罪の捜査, サイバー犯罪防止のためのセキュリティ対策, 各種電磁的記録媒体の解析等

#### 受験資格

- (a) 科学捜査官 (化学)  
次のいずれかに該当する人であること  
ア 化学又は薬学に関する修士の学位を有し, 民間等における5年以上の有用な職歴を有する人  
イ 技術士 (化学部門) の資格を有し, 民間等における5年以上の有用な職歴を有する人  
ウ 化学又は薬学に関する研究員として民間等における5年以上の有用な職歴を有する人
- (b) 科学捜査官 (電気電子)  
次のいずれかに該当する人であること  
ア 電気・電子工学に関する修士の学位を有し, 民間等における5年以上の有用な職歴を有する人  
イ 技術士 (電気電子部門) の資格を有し, 民間等における5年以上の有用な職歴を有する人  
ウ 電気・電子工学に関する研究員として民間等における5年以上の有用な職歴を有する人
- (c) サイバー犯罪捜査官  
〔警部補〕システムアナリスト, テクニカルエンジニア, システム監査技術者, 技術士 (情報工学部門) 又はこれに相当する資格を有し, かつ, 民間等における5年以上の有用な職歴を有する人  
〔巡査部長〕ソフトウェア開発技術者又はこれに相当する資格を有し, かつ, 民間等における3年以上の有用な職歴を有する人

**申込受付期間** 2019年7月16日～8月14日 (当日消印有効)

**申込方法等** 警視庁採用サイト (<https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/saiyo/31/>) をご覧ください

**照会先** 〒183-8555 東京都府中市朝日町3-15-1

警視庁採用センター Tel(0120)314-372 (フリーダイヤル) / (03)3581-4321 (代表)

### ■近畿大学工学部情報学科

**募集人員** 教授, 准教授, または講師 1名

**専門分野** データサイエンス分野, オペレーションズ・リサーチ分野, 情報工学分野のいずれか

**担当科目** オペレーションズ・リサーチ, シミュレーション科学, アルゴリズムとデータ構造, 実習・演習など

**応募資格** (1) 博士の学位を有する方, (2) 大学院の指導を担当できる方, (3) 上記専門分野を専門とし研究業績があり, 教育熱心な方, (4) 学部運営に熱意を持ち, 他教職員と協調できる方

**着任時期** 2020年4月

**提出書類** (1) 履歴書 (本学所定の様式) 1通, (2) 研究業績集計表 (本学所定の様式) 1通, (3) 教育研究業績書 (本学所定の様式) 1通, (4) 主論文別刷 (5編程度, コピー可), (5) 現在までの研究概要 (A4用紙1枚程度), (6) 着任後の研究計画および情報学教育に対する抱負 (A4用紙1枚程度), (7) 推薦書, または参考となる意見を伺える2名以内の方の氏名, 所属, 職位, 連絡先, E-mail アドレスを記載した書類

※本学所定の様式は, <https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/employment/teachers/> からダウンロードください

**応募締切** 2019年7月31日 (当日消印有効)

**送付先** 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1

近畿大学工学部 学部長 旗手 稔 宛

提出書類を厳封の上, 「教員応募書類 (情報学科)」と朱書き, 簡易書留でご送付ください

**照会先** 近畿大学工学部情報学科 学科長 谷崎隆士

E-mail: tanizaki@hiro.kindai.ac.jp

Tel(082)434-7384 Fax(082)434-7890

**その他** 詳細は, 以下の Web ページをご覧ください

・JREC-IN

[https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119060146&ln\\_jor=0](https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119060146&ln_jor=0)

• 本学 Web ページ

<https://www.kindai.ac.jp/files/about-kindai/employment/teachers/hiro/20190529-03.pdf>

## ■名城大学理工学部情報工学科 (人工知能)

**募集人員** 准教授または助教 1名

**専門分野** 人工知能およびその応用技術に関連する分野

**担当科目** 情報工学科における、データベース、言語・オートマトン、数値解析、情報工学実験、アドバンスアルゴリズムを含む講義・演習・実験および大学院における授業など

**応募資格** (1) 私立大学の現職に即して、本学での教育と研究に熱意を有する方、(2) 現時点で博士の学位を有する方、(3) 人工知能およびその応用技術分野で研究実績を有する方、(4) 大学院が担当可能な方、(5) 名古屋市あるいはその周辺地域に居住できる方

**着任時期** 2020年4月1日

**提出書類** (1) 履歴書 (E-mail アドレス記入のこと)、(2) 研究業績リスト (原著論文、国際会議論文、著書、特許、外部資金等に別けて記載)、(3) これまでの研究の概要 (A4用紙1枚)、(4) 教育業績リスト (教育経験、実践内容、作成した教科書・教材、評価・表彰等)、(5) 主要学術論文5編の別刷、(6) 今後の「教育」および「研究」に対する抱負 (それぞれ1,000字程度)、(7) 応募者について所見を伺える方2名の氏名、所属、連絡先を記した書類

**応募締切** 2019年8月2日

**送付先/照会先**

〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501

名城大学理工学部情報工学科 教授 山田啓一

**その他** 詳細は、<https://www.meijo-u.ac.jp/employ/information02.html> を参照ください

## ■名城大学理工学部情報工学科 (情報セキュリティ)

**募集人員** 助教 1名

**専門分野** 情報セキュリティおよびその応用・先端技術に関連する分野

**担当科目** 情報工学科における、情報セキュリティ、プログラミング演習、情報工学実験などを含む講義・演習・実験および大学院における授業など

**応募資格** (1) 私立大学の現職に即して、本学での教育と研究に熱意を有する方、(2) 現時点で博士の学位を有する方、(3) 情報セキュリティおよびその応用技術分野で研究実績を有する方、(4) 大学院が担当可能な方、(5) 名古屋市あるいはその周辺地域に居住できる方

**着任時期** 2020年4月1日

**提出書類** (1) 履歴書 (E-mail アドレス記入のこと)、(2) 研究業績リスト (原著論文、国際会議論文、著書、特許、外部資金等に別けて記載)、(3) これまでの研究の概要 (A4用紙1枚)、(4) 教育業績リスト (教育経験、実践内容、作成した教科書・教材、評価・表彰等)、(5) 主要学術論文5編の別刷、(6) 今後の「教育」および「研究」に対する抱負 (それぞれ1,000字程度)、(7) 応募者について所見を伺える方2名の氏名、所属、連絡先を記した書類

**応募締切** 2019年8月2日

**送付先/照会先**

〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501

名城大学理工学部情報工学科 学科長 山本修身

**その他** 詳細は、<https://www.meijo-u.ac.jp/employ/information01.html> を参照ください

## ■東北工業大学工学部情報通信工学科

**募集人員** 講師、准教授または教授 1名 (3年任期。ただし、任期中の勤務状況および本学資格審査基準等を満たした場合、専任教員に任用する可能性がある)

**専門分野** マイクロ波、RF回路、電波伝搬、アンテナ

**着任時期** 2020年4月1日

**担当科目** 電気回路、電磁気学、電波工学、工学実験、卒業研修など

**応募資格** 学生の教育に熱意のある方で、博士の学位を有する方もしくは着任までに取得見込みの方

**提出書類** (1) 履歴書 (学歴、職歴、教育歴、所属学会名、学会活動、社会活動等)、(2) 研究業績リスト (博士論文、学会誌論文、国際会議論文、解説論文、著書、特許などに別けて記載)、(3) 主要論文別刷またはコピー (3編)、(4) 東北工業大学での学生の教育に対する抱負 (1,000字程度)、(5) 応募者について所見をいただける方2名の連絡先 (E-mail アドレス/電話番号)

**応募締切** 2019年9月13日 (必着)

**送付先/照会先** 〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学工学部情報通信工学科 学科長 工藤栄亮  
E-mail: kudoh@tohtech.ac.jp Tel(022)305-3438 Fax(022)305-3402  
封筒に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください

**その他** (1) 選考方法:書類選考の後、面接選考 (プレゼンテーションを含む) (交通費は応募者の負担となります)

※提出書類は返却いたしません

(2) 詳細については本学 Web ページ (<http://www.tohtech.ac.jp/corporation/recruit/index.html>) をご覧ください

## ■福岡大学工学部電子情報工学科

**募集人員** 助教 1名 (任期5年後、任期なし再雇用の可能性有)

**専門分野** 情報ネットワーク分野

**担当予定科目** 電子情報工学科の演習科目 (情報工学実験、電子情報工学実験) など

**応募資格** 学科のポリシーを理解し、着任後に熱心に研究・教育のできる方。日本語で演習科目を担当できる方。博士の学位を有すること (取得見込み可)

**着任時期** 2020年4月1日 (予定)

**提出書類** (1) 履歴書 (本学様式\*)、(2) 研究業績書 (本学様式\*で、審査の有無を明記)、(3) 論文別刷 (コピー可)、(4) これまでの研究概要 (A4用紙で1~2枚)、(5) 本学における今後の研究・教育に対する抱負 (A4用紙で1~2枚)、(6) 外国籍の場合は、可能であれば、日本語と英語の能力を証明できる資料 (コピー可)、(7) 推薦状、もしくは応募者に関する問合せ可能な2名の方の連絡先 \* Web ページ (<http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/page/employment>) から提出書類のフォームをダウンロードし使用してください

**応募締切** 2019年9月30日 (必着)

**送付先** 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8-19-1

福岡大学工学部電子情報工学科 主任教授 大橋正良

Tel(092)871-6631 (内線6391)

**照会先** 福岡大学工学部電子情報工学科 教授 上山憲昭

Tel(092)871-6631 (内線6399) ※ (簡易) 書留で封筒に「助教 (情報ネットワーク部門) 応募書類」と朱書きのこと。応募書類は原則として返却しませんのでご了承ください

**その他** 【任期】原則、任期付き5年 (外国籍の場合は3年)。ただし研究業績を勘案し、任期なしとして採用する可能性あり。また任期付きでの採用の場合も、雇用期間終了後、教育・研究業績等により任期なしで再雇用することが可能

【選考方法】書類選考の上、面接を行います

福岡大学は男女雇用共同参画を推進しています

# FIT2019 第 18 回情報科学技術フォーラム開催の御案内

<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/>

有料会費

電子情報通信学会の情報・システムサイエティ (ISS) とヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)、及び情報処理学会 (IPSJ) は、今年も「第18回 情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催します。会期と会場は下記の通りです。皆様、奮ってご参加下さい。

講演論文集 (冊子、DVD-ROM) も会場販売を行います。残部のある限りということになりますので、予め御了承下さい。

会 期: 2019年9月3日(火) ~ 5日(木)

会 場: 岡山大学 津島キャンパス (岡山県岡山市北区津島中1-1-1)

交 通: JR岡山駅運動公園口(西口)から22番乗り場「岡山大学・岡山理科大学口行き」のバスにて「岡大入口」または「岡大西門」で下車

※お車でのご来場は御遠慮下さい。車イス等で駐車場が必要な場合は事前にお知らせ下さい。

■開催イベント企画 ※タイトル等は変更の可能性があります。

[表彰式・招待講演企画]

◎FIT学術賞表彰式

4日 9:30-10:20 第1イベント会場 (金光ホール)

◎特別講演

4日 10:20-10:50 第1イベント会場 (金光ホール)

「社会全体のデジタル化とその先の日本」

平井卓也 (国務大臣 (IT政策担当))

「岡山におけるデジタル社会の展開」

松田 久 (岡山商工会議所会頭)

◎船井業績賞受賞記念講演

4日 11:00-12:00 第1イベント会場 (金光ホール)

「音楽情報処理が切り拓く音楽体験の未来: コンテンツの自動解析が価値を生む」

後藤真孝 (産業技術総合研究所 首席研究員)

[トップコンファレンスセッション] (新企画)

最近数年間に各分野のトップレベルの国際会議・学術雑誌で発表された論文の著者に、その内容を紹介して頂く特別なセッションです。会期を通して、専用の会場で実施します。

優れた研究内容を把握できるとともに、その著者たちとの質疑応答や情報交換ができる貴重な機会です。ぜひご活用ください。

[イベント企画]

各学会の関係研究会や委員会などから構成されるプログラム委員会において、ホットなトピック、分野横断的な研究テーマ、学生や若手へのメッセージを込めた話題などを中心に、多くの興味深いイベントを企画中です。以下はその一部を抜粋したものです。内容や日時は変更される場合があります。最新の情報は Webページでご確認ください。

3日 9:30~12:00 音波通信技術とその応用

9:30~12:00 グラフアルゴリズムの新潮流

13:10~15:10 若手研究者が描く未来予想図

13:10~15:10 農業とICT

15:30~17:30 enPIT

4日 13:10~15:10 OSSハッキングのための法律相談

15:30~17:30 量子コンピュータ技術基盤の創出に向けて

15:30~17:30 医療と自然言語処理のこれから

15:30~17:30 働き方改革とIT - デジタルプラクティスライブ

5日 9:30~12:00 人や物を運ぶICT

13:10~15:40 情報セキュリティのやり方: 実践編

13:10~15:40 ソーシャルビッグデータの処理と応用

[研究会連携]

電子情報通信学会 ISS のパターン認識・メディア理解(PRMU)研究会、医用画像(MI)研究会、および情報処理学会のコンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)研究会の共催研究会が、FIT2019のプログラムに組み込まれます。

■聴講参加費 (税込)

参加区分	当日価格
会 員	12,000円
非会員	24,000円
学 生	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・電子版講演論文集 (Webからダウンロード) が含まれております。

※学生の聴講参加はプログラム・参加章のみとなっております。

電子版講演論文集 (DVD-ROM) が必要な方には学会会場価格4,000円にて販売致します。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

会 員: 情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE) または情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI、CCF) の個人会員、電子情報通信学会の維持員、情報処理学会の賛助会員。

非会員: 上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生: 会員/非会員を問わず無料 (電子版講演論文集は付きません)。

■情報交換会

開催日時: 3日 (火) 18:30~20:30

会場: 岡山後楽園 鶴鳴館

参加費 (税込): 一般 (正員・非会員) 5,000円

割引 (座長、イベント企画登壇者、トップコンファレンスセッション講演者) 3,000円

学生 2,000円

※会場の定員に達しましたら、申込を締切らせていただく場合があります。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格 (税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット (DVD-ROM 付)	60,000円	60,000円
講演論文集分冊	13,000円/冊	16,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	10,000円	56,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊 (カバー付き)、DVD-ROM 付き

※講演論文集の掲載分野 (予定分冊構成)

第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊: データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊: 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊: ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM : 上記全論文とプログラムを収録

■聴講参加、講演論文集の申込

当日申込の聴講参加、懇親会参加、講演論文集等のお支払いは全て現金払いをお願い致します。

■次年度のFIT2020開催

2020年9月1日 (火) ~ 3日 (木) 北海道大学にて開催予定

■問い合わせ (FIT2019事務局)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

一般社団法人 情報処理学会 事業部門

TEL [03] 3518-8373 FAX [03] 3518-8375

E-mail: ipsjfit@ipsj.or.jp

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 変形判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
(1 ページ) 天地 250mm × 左右 180mm  
(1/2 ページ) 天地 120mm × 左右 180mm  
(1/4 ページ) 天地 55mm × 左右 180mm  
\* A4 変形判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。  
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
\* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

## 創立 60 周年記念事業について

2019 年 7 月 15 日

会長 江村 克己

情報処理学会は 1960 年 4 月 22 日に創立され、来る 2020 年に創立 60 周年を迎えます。これは会員の皆様のご活動と、学協会、産業界ならびに関係官公庁のご支援によるものと感謝いたしております。

情報処理は 1 つの学術・技術分野であるだけでなく、すべての分野に必要なテラシーであり、社会システムを支える重要な基盤です。本会は、現在と未来の社会の幸福に貢献するため、学術・技術を高めるとともに社会的責任を認識し、議論や成果を社会に発信していく学会として進化していかなければなりません。

情報処理にかかわる学界、教育界、産業界をはじめとするすべての方々が明日の情報社会に関する夢を持って議論する契機もしくは里程標となる記念事業であることを願って、下記事業を計画、推進いたします。各事業ともその詳細が確定次第、順次、皆様に会誌や本会 Web サイト等でご案内してまいります。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

### — 創立 60 周年各記念事業のあらまし —

創立 60 周年記念事業 Web サイト <https://www.ipsj.or.jp/60anv/>

(以下、掲載は事業の開催・公開日程順)

#### ■ 記念全国大会

第 82 回全国大会を 60 周年記念大会と位置づけ、次の会期・会場にて、「サステイナブルな情報社会」をテーマに、多彩な企画を盛り込んで実施いたします。

企画内容や一般講演募集内容については、2019 年 9 月以降に詳細が整い次第、順次ご案内予定です。

会 期：2020 年 3 月 5 日（木）～ 7 日（土）

会 場：金沢工業大学 扇が丘キャンパス

招待講演：「SDGs の実装に向けた IT の役割（仮題）」

#### ■ 記念会誌

会誌については、2020 年 5 月号を記念特集号とし、特集「2050 年の情報処理」の掲載を予定しております。本企画は、1991 年の同特集「30 年後の情報処理」（32 巻 1 号 / 1991 年 1 月号）における記載内容の検証と、2050 年に向けての予想をコラム形式で紹介するものです。

#### ■ 記念論文

和文・英文論文誌において、60 周年記念論文を公募し、優秀な論文を記念式典（2020 年 10 月 30 日）の場で表彰します。公募の概要は次の通りです。詳細は計画が整い次第、順次ご案内予定です。

応募資格：情報処理学会の個人会員（共著の場合は、著者のうち最低 1 名が会員であること）

対象論文：情報処理の分野に関する和文または英文の原著論文

論文形式：「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」または「Journal of Information Processing」に準拠。

応募締切：2020 年 1 月 31 日（金）

## ■ 60年史の刊行

50年史『50年のあゆみ』以降を中心に本会60年の歴史の記録を編纂し、記念式典（2020年10月30日）にて配布いたします。

## ■ 記念出版

出版物：『日本の情報処理技術遺産とコンピュータのパイオニアたち』（仮題）

情報処理技術遺産とオーラルヒストリーを1冊にまとめ書籍化し、記念式典（2020年10月30日）にて配布いたします。

## ■ 記念式典

記念式典・記念講演・祝賀会を2020年10月30日に執り行います。

日 程 2020年10月30日（金）午後

会 場 明治記念館

## ■ 記念事業推進組織

60周年記念事業実行委員会（委員長：江村克己）のもとに次の委員会を設け、記念事業を推進いたします。

60周年記念事業実行委員会

記念全国大会組織委員会／プログラム委員会

記念会誌編集委員会

記念論文選考委員会

60年のあゆみ編纂委員会

記念出版委員会

記念式典実施委員会

記念事業総務財務委員会

## ■ 記念事業の財務

記念事業の実施に必要な経費は、記念事業積立資産から充当いたします。

---

## ● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.60 No.7 (July 2019)

### 【一般論文】

- 単体テストコードとアスペクト指向を用いた動的バースマークの抽出コストの削減 横井昂典 他
- ストリーミング時系列データに対するモチーフモニタリング 加藤慎也 他
- Wi-Fi アクセスポイントの自律制御のための通信品質予測に基づくチャネル選択手法 梶田宗吾 他
- 非負値行列因子分解を用いたプラットフォームビジネスにおける顧客生涯価値予測 蓮本恭輔 他
- EasyTrack: Zero-Calibration Smart-Home Tracking System NATHAVUTH KITBUTRAWAT 他
- 現物給付型サービスに向けた秘密計算プロトコルの提案 坂崎尚生
- 運転行動からのドライバの交差点右折先歩行者への気付きの推定法 立岩 佳 他
- 敵対的生成ネットワークを用いた、3次元点群形状特徴量の教師なし学習 上西和樹 他
- 自動対戦棋譜の教師あり学習による翻数予測に基づく麻雀プレイヤ 水上直紀 他

\*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note



## ● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(July 2019)

### 【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.12 No.2】

- Modeling and evaluating taxi ride-sharing for event trips Taketo Yoshida 他
- 差分累積値に基づく農業環境データの可視化分析法 岩崎清斗 他
- Deep Neural Network のモデル逆解析による識別根拠可視化技術 柿下容弓 他
- ベイズの変数選択に基づく分光スペクトル分解 川島貴大 他
- フィールド保守業務における人的資源割当施策の立案支援 作田一樹 他
- 銀行預金と銀行融資を利用した機会制約ポートフォリオ最適化問題の適応型差分進化に基づく解法 田川聖治
- 白黒2階調の補助線を用いた幾何歪みに頑健な2次元コードとその復号方式の提案 鞍津輪一希 他
- 生体蛍光観察動画の深度を考慮した深層学習による細胞追跡精度の改善 嶋田彩人 他
- Fast Railway Delay Evaluation Method Based on Discrete Distribution Propagation Tomoshi Otsuki 他



### 【論文誌 プログラミング Vol.12 No.3】

- Buffered Garbage Collection: An Approach to Collecting Self-Created Garbage Objects Tetsuro Yamazaki 他

- 確率密度関数を用いたソフトウェアテストのためのテストケース優先順位付け戦略 齋藤雄太 他
- Visualization of Counterexamples of Memory Model-Aware Model Checking Using SPIN Kosuke Matsumoto 他



### 【論文誌 データベース Vol.12 No.3】

- マイクロログにおける感動詞との共起を利用した検索語の抽出 湯沢昭夫 他
- Stance Detection Attending External Knowledge from Wikipedia Kazuaki Hanawa 他



### 【論文誌 コンピューティングシステム Vol.12 No.3】

- メニーコア上でのローカルタスク協調実行を伴うタスク駆動型粗粒度並列処理 岡 宏樹 他
- フィルタの反復適用による実対称定値一般固有値問題の近似対の改良 村上 弘
- OSUAD: FPGA を用いたオンライン逐次学習型教師無し異常検知器 塚田峰登 他
- 高スケラブル・安定的な SA-AMG 法に向けたニアカーネルベクトル自動抽出手法に関する研究 野村直也 他
- 宇宙輻射輸送コードにおける OpenCL による FPGA 演算加速最適化 藤田典久 他
- 適応型 Stubborn キャッシュマネジメント手法の提案 野村隼人 他



### 【Transactions on Bioinformatics Vol.12】

- Prediction of Antifungal Peptides by Deep Learning with Character Embedding Chun Fang 他



## ● デジタルプラクティス掲載論文リスト

Vol.10 No.3 (July 2019)

### 【特集：フィンテック／ブロックチェーン】

- 「フィンテック／ブロックチェーン」特集号について

吉濱佐知子

### 【特集号解説論文】

- 暗号資産への脅威と対策—ビットコインの社会への展開による変質— 岩下直行

### 【特集号招待論文】

- 分散型台帳技術の応用に向けて—中央銀行の決済システムからみた特徴と課題— 河田雄次 他
- 証券業界におけるブロックチェーンの活用に向けた検討とオープンイノベーションの推進 近藤真史
- 貿易実務のブロックチェーン利用、実践と課題 金子雄介 他
- ブロックチェーン基盤ソフトウェア性能検証—Hyperledger Fabric, Quorum, Ethereum の横串比較— 尾根田倫太郎 他

- <みずほ> APIの拡充について— APIプラットフォーム基盤の構築を目指して— 河本敏孝 他
- クラウドファンディングプラットフォームを用いた資本市場における課題解決の実践的取り組み 鬼頭武嗣
- <パネル討論>ブロックチェーンによるイノベーションの展望と課題  
パネリスト 近藤真史, 小早川周司, 金子雄介, 尾根田倫太郎  
モデレータ 吉濱佐知子

**【特集投稿論文】**

- 金融機関における AI 実践プロジェクトの分析とプロジェクト管理への活用 竹内広宜 他
- デジタル医療の開発とブロックチェーンの医療応用 本橋智光 他

**【一般投稿論文】**

- Field Trial of Driver Management Application with Wearable Vital Sensor Yoji Yamato 他
- 組込み機器開発における 2038 年問題への対応事例 大江秀幸 他
- AI × IoT による次世代展示見学支援システムの大規模企業展示会における適用 茂木 学 他
- 多品種小変更型開発におけるコア資産保守・製品導出手法の改善と実践 長峯 基 他

- DevOps を活用した協調型データ準備プロセス— Data Wrangling ツールおよび ETL ツールを併用した複数ロールにおける反復的データ準備— 樫山俊彦 他

**【富士通ファミリ会論文】**

- 生命保険における引受査定業務の自動化・スピードアップ 伊藤隆郎 他



**【DP レポート (情報学広場)】**

- T シャツ型ウェアラブルセンサーを用いた乗車中姿勢推定 山登庸次
- 未就学児を対象としたデジタルあそびコンテンツの展示に関する考察と要件—フレール館での展示からの気づき— 林 達也 他



**次号 (9月号) 予定目次**

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

**「特集」集めよ！ジュニア会員！！**

「やんちゃに行きましょう!!」～どのようにジュニア会員制度は始まったのか/ジュニア会員から始まる学会活動の新たなステージ—なぜいまジュニア会員なのか—/今こそ花開く、熱き想い—情報処理教育委員会の活動とその歴史—/ IPSJ-ONE がジュニア会員を惹きつけるわけ/ジュニア会員と学会のインタフェースとしての会誌/「先生、質問です!」が目指すこと/ Exciting Coding! Junior のこれまでとこれから/ジュニア会員体験記

**特別解説:** Twitter アカウント停止について考える ..... 楠 正憲  
自動運転車の死亡事故の背景について ..... 永井正夫

**報告:** 未踏の第 25 期スーパークリエイターたち

**トピックス:** 研究会推薦博士論文速報

**教育コーナー:** べた語義

**連載:** IT 紀行 / 5 分で分かる! ? 有名論文ナナメ読み / 集まれ! ジュニア会員!! / 買い物自慢 / 情報の授業をしよう! / 先生、質問です! / ビブリオ・トーク / 論文必勝法

**コラム:** 巻頭コラム / リレーコラム

**会議レポート:** 22nd International Conference on Extending Database Technology (EDBT) 参加報告 / ACM ASPLOS2019 報告



**CONTENTS**

**Preface**

- 702 **Informatization and/or Virtualization of the Physical Material World**  
Susumu TACHI (The Univ. of Tokyo)

**Special Features**

**Challenge to Work in Global Business**

- 704 **0. Foreword**  
Harumi WATANABE (Tokai Univ.) and Takeshi OKAWA (Utsunomiya Univ.)
- 706 **1. Road to Oversea - On the Front Line of Offshore Embedded Software and Technology Adoption from Japan -**  
Masami IKURA (TOYOTA TSUSHO NEXTY ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.)
- 711 **2. Merits of Studying in Japan and Career After It**  
Nattha Jindapetch (Prince of Songkla Univ.), Harumi WATANABE (Tokai Univ.) and Takeshi OKAWA (Utsunomiya Univ.)
- 714 **3. Starting-up an International Conference from Scratch**  
Takeshi OKAWA (Utsunomiya Univ.)
- 718 **4. Global Project-Based Learning with Drone System Development**  
Kenji HISAZUMI (Kyushu Univ.), Masafumi MIWA (Tokushima Univ.) and Nobuhiro OHE (Tokai Univ.)
- 722 **5. Interviews on Participate for Global Project-Based Learning**  
Midori SUGAYA (Shibaura Institute of Technology)
- 726 **6. Internship in a Global Company**  
Mikiko SATO (Tokai Univ.) and Nobuhiko OGURA (Tokyo City Univ.)

**Work-Life Balance**

- 730 **0. Foreword**  
Ayumi KIZUKA (Osaka Univ. of Arts)
- 732 **1. From a Hard Worker to a Soft Worker**  
Mamoru KOMACHI (Tokyo Metropolitan Univ.)
- 734 **2. Work-Life Balance Focusing on Skills Per Unit Time - Deep Life -**  
Ryosuke MATSUMOTO (SAKURA Internet Inc.)
- 737 **3. The Style of Working Remotely Life to Work, Work to Life**  
Yoshiaki OSHIRO (YassLab Inc.)
- 739 **4. Working and Caregiving**  
Kazunori TOKUO (Yahoo! Japan Corp.)
- 742 **5. Things to Think before Discussing WLB - Through Practical Cases in Telework Research -**  
Kenji YOSHIMI (Bukkyo Univ.)
- 744 **6. Work-Life Balance : A University Faculty's Perspective**  
Yuki IGARASHI (Meiji Univ.)
- 746 **7. I Attended Domestic Conferences with Four-year-old Son**  
Yu SUZUKI (Gifu Univ.)

**Reports : The 2018 IPSJ Best Paper Award**

- 748 **Foreword**  
Rin-ichiro TANIGUCHI (Kyushu Univ.)
- 749 **Touch the World of IoT**  
Masato YOKOTANI (SoftBank Technology Corp.)
- 750 **To Seek out Barriers around the World**  
Akihiro MIYATA (Nihon Univ.)
- 751 **An Approach to "Integrate" Different Types of Information**  
Masahiro SUZUKI (The Univ. of Tokyo)
- 752 **High Efficiency Video Coding Transmission System Based on Human Vision Properties**  
Mitsuhiro OKADA (Hitachi, Ltd.)
- 753 **The Journey to Helping Users to Master Smartphones**  
Toshiyuki HAGIYA (KDDI Research, Inc.)

- 754 **Evaluation Research on a Not-So-Exciting Topic**  
Hidehiko MASUHARA (Tokyo Institute of Technology)
- 755 **Programming Learning by Collaboration between Human and Human Pictograms**  
Kazunari ITO (Aoyama Gakuin Univ.)

**Reports : The 2018 IPSJ Industrial Achievement Award**

- 756 **Foreword**  
Kohtarō ASAI (Mitsubishi Electric Corp.)
- 757 **The World's First Video Analysis for Unknown Persons**  
Jianquan LIU, Shoji NISHIMURA, Yasufumi HIRAKAWA, Takuya ARAKI and Tingting DONG (NEC Corp.)
- 758 **New Solution Development by Designing Thin and Small IoT Devices**  
Hiroyuki NAKAMOTO, Hiroyuki SATO (Fujitsu Ltd.), Hong GAO (Fujitsu Laboratories Ltd.), Syunji BABA (Fujitsu Ltd.) and Takashi KANDA (Fujitsu Advanced Technologies Ltd.)
- 759 **Searchable Encryption to Process Sensitive Information in the Cloud**  
Masayuki YOSHINO, Hisayoshi SATO, Ken NAGANUMA, Keiichi SATO and Shinji MURASE (Hitachi, Ltd.)

**Reports : The 2018 IPSJ Microsoft Faculty Award**

- 760 **Foreword**  
Yasuo OKABE (Kyoto Univ.)
- 761 **Multi-Agent Automated Negotiation and Future Directions**  
Katsuhide FUJITA (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 762 **Tackling an Open Problem in Distributed Coordination of Autonomous Mobile Robots**  
Yukiko YAMAUCHI (Kyushu Univ.)

**Reports : The 2018 IPSJ Research and Engineering Award**

- 763 **Foreword**  
Yasuo OKABE (Kyoto Univ.)
- 764 **Coffee Break that Matters**  
Hiroshi HORII (IBM Research)

**"Peta-gogy" for Future**

- 765 **Expectation to the Training for the New Subject of High School "Information I"**  
Susumu KANEMUNE (Osaka Electro-Communication Univ.)
- 766 **Report of Junior High School and High School Student Poster Session - Awarded Theme Research -**  
Yutaka OHYAMA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association)
- 770 **Programming Education which will be Made Compulsory at Elementary, Secondary and High School**  
Hiroki MANABE (Hakuyo High School)

**Let's Learn Informatics**

- 774 **Think and Express for Yourself and then Act**  
Junichiro KOBAYASHI (Den-en-chofu Futaba Junior and Senior High School)

- 778 **Biblio Talk**
- 780 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
- 782 **Gathering to Share Original Programming Projects for Junior**
- 783 **Regular Column**
- 784 **Shopping Boast**
- 786 **Questions for Experts**
- 789 **IT Manga**
- 790 **Conference Report**
- 792 **Conference Report**

# ご寄付のお願い

情報処理学会は、情報処理に関する学術および技術の振興をはかることにより、学術、文化ならびに産業の発展に寄与することを目的に各種事業を戦略的に展開しております。今回、学会活動の更なる活性化を図る上で会員の皆様からご寄付を頂戴いたしたく、お願いを申し上げます。

皆様から頂きますご寄付は

情報技術を通じて、人類及び世界の発展に資するため  
情報技術を中心に学術および技術の振興に資するため  
将来を担う人材の育成に資するため

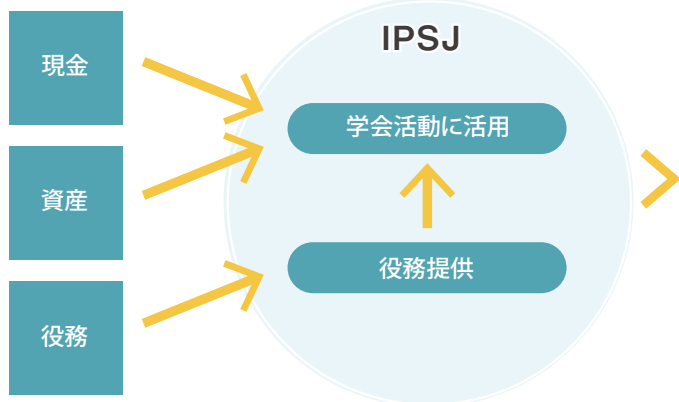
などの観点に照らし、下記の項目に活用させて頂く所存です。

今回ご寄付をお願いしたいのは現金に加えて、情報技術に関わる有形無形の資産（著作物、電子コンテンツ、特許、ソフトウェア等）、ボランティアで提供いただける役務提供（経験や知識に基づく役務）なども含まれます。お預かりいたしましたご寄付のうち用途のご指定のあるものは、そのご意向に沿った活用をさせて頂き、ご指定のないものは、その用途を学会活動の活性化に有効な諸事業で活用させて頂きます。今後も会員の皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂きながら、学会発展のために努力して参る所存でありますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

\* ご注意 情報処理学会は寄付金に対する税金が優遇される特定公益増進法人ではございません。

## IPSJ 寄付

### 会員他寄付



### 活用先

#### 教育・育成

情報入試 | 子ども教室 | パソコン教室

#### 社会貢献

表彰

国際活動

規格標準化

情報資産保存

学会諸事業

その他



詳しくはこちら

<https://www.ipsj.or.jp/annai/other/donation.html>

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 管理部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

TEL 03-3518-8374 FAX 03-3518-8375

✉ [soumu@ipsj.or.jp](mailto:soumu@ipsj.or.jp)

# 情報処理学会デジタルプラクティス

## 特集号論文募集

### 「DX を推進する俊敏なシステム開発・運用 —アジャイルにつなぐビジネスと ICT—」

● ● ▶ [投稿締切] 2019年8月5日(月) 17:00 ◀ ● ●

DX\*による新しい時代へのシフトが起こりつつあります。この変化が社会に浸透することで、従来の社会・経済システムが ICT を活用するように変革し、その効果を最大限に引き出すことができる新たな社会・経済システムへと向うことになります。企業は、新しいデジタル技術を活用する新たなビジネスモデルや技術統合とそれによる新たな価値を生み出していくことが求められます。その特徴として次のことが挙げられます。

- ・開発の初期に要求のすべてを見通すことは出来ない。
- ・運用時の技術評価結果や顧客の反応に基づいて素早く改善を繰り返す、仮説検証型の反復的な開発スタイルが有効となる。
- ・ビジネス環境の変化に対して迅速に追従することが求められる。

アジャイル開発や DevOps は、これらの課題に応えるための方法論でもあり、DX 時代のシステム開発方法論として非常に関心が高まっています。そこで今回、アジャイル開発や DevOps を中心とした俊敏なシステム開発・運用に関するプラクティス論文を募集致します。

DX 時代に有効な開発事例や人材育成などシステム開発・運用に関係した様々な実践に基づくプラクティス論文の投稿を期待致します。

多くの皆様からのご投稿をお待ちしています。

※ DX の定義については、例えば次を経済産業省の資料をご参照下さい。

- ・DX 推進ガイドライン (2018年12月)  
<https://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181212004/20181212004-1.pdf>
- ・DX レポート～IT システム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～ (2018年9月)  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/digital\\_transformation/20180907\\_report.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html)



デジタルプラクティス  
HTML サイト  
<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/index.html>

※投稿要領: Web サイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1102s.html> (応募資格は問いません)

※掲載号: 2020年4月号 (Vol.11 No.2)

※特集エディタ: 山下博之 (情報処理推進機構), 藤瀬哲朗 (三菱総研)

※特集号編集委員: 編集委員長: 細野 繁 (東京工科大学)

副編集委員長: 茂木 強 (科学技術振興機構), 藤瀬哲朗 (三菱総研)

編集委員: 荒木拓也 (日本電気), 田島 玲 (ヤフー), 粟津正輝 (富士通研究所), 飯村結香子 (NTT),

石黒剛大 (三菱電機), 今原修一郎 (東芝), 大嶋嘉人 (NTT), 鬼塚 真 (大阪大学), 上條浩一 (日本 IBM),

斎藤彰宏 (日本 IBM), 澤谷由里子 (東京工科大学), 澤邊知子 (日本大学), 新田 清 (ヤフー),

濱崎雅弘 (産業技術総合研究所), 平井千秋 (日立製作所), 平林元明 (日立製作所), 福島俊一 (科学技術振興機構),

吉野松樹 (日立), アドバイザ: 喜連川優 (国立情報学研究所・東京大学)



(論文募集公開時点 (2019年5月))

# 「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？  
カタログ同封  
サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。  
通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**  
また、カタログ送付にかかる**コストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

## お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
  - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望号
  - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
  - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
  - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax可)。
  - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (20,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
  - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
  - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり  
約17.5円!

**基本価格 350,000 円**  
(税込 378,000 円)

対象：全会員 20,000 通 配布  
(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や  
共催事業は  
さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員  
(基本価格の40% Off!) **210,000 円**  
(税込 226,800 円)

情報処理学会主催・共催事業\*  
(基本価格の80% Off!) **70,000 円**  
(税込 75,600 円)

\*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 変形判または A4 判二つ折り (その他についてはご相談ください)  
用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

## ☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27  
Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

# ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出ください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）  
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他…………… 4- [ ]
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）  
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他…………… 5- [ ]
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- [ ]
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性…………… 7- [ ]
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- [ ]
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- [ ]
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？  
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- [ ]
- (10) 今月号（2019年8月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない ]
- 巻頭コラム：物質世界の情報化…………… 10-1- [ ]
- 特集：グローバルに活躍する
1. 海外への道…………… 10-2- [ ]
  2. 日本への留学のメリットとその後のキャリア…………… 10-3- [ ]
  3. ゼロからの国際会議の立ち上げ…………… 10-4- [ ]
  4. グローバル Project-Based Learning…………… 10-5- [ ]
  5. グローバル Project-Based Learning における学生の声…………… 10-6- [ ]
  6. 海外インターンシップ・インタビュー…………… 10-7- [ ]
- 小特集：ワークライフバランス
1. ハードワーカーからソフトワーカーへの転換…………… 10-8- [ ]
  2. 単位時間あたりのスキルに着目したワークライフバランス…………… 10-9- [ ]
  3. リモートワークという働き方…………… 10-10- [ ]
  4. 介護をしながら働く…………… 10-11- [ ]
  5. ワークライフバランスを議論する前に考えるべきこと…………… 10-12- [ ]
  6. 子どもがいるからとあきらめないために…………… 10-13- [ ]
  7. 4歳の子どもを連れて学会に参加してみた…………… 10-14- [ ]
- 2018年度論文賞の受賞論文紹介…………… 10-15- [ ]
- 2018年度業績賞紹介…………… 10-16- [ ]
- 2018年度マイクロソフト情報学研究賞紹介…………… 10-17- [ ]
- 2018年度情報処理技術研究開発賞紹介…………… 10-18- [ ]
- べた語義：高等学校「情報Ⅰ」の実施に向けた研修への期待…………… 10-19- [ ]
- べた語義：中高生ポスターセッションの報告—受賞テーマ研究—…………… 10-20- [ ]
- べた語義：小中高で必修化されたプログラミング教育…………… 10-21- [ ]
- 情報の授業をしよう！：考えて表現して動く人になるために…………… 10-22- [ ]
- ピブリオ・トーク：AIの遺電子…………… 10-23- [ ]
- 5分で分かる!? 有名論文ナナム読み：Duchi, J. et al.: Adaptive Subgradient Methods for Online Learning and Stochastic Optimization…………… 10-24- [ ]
- 連載：集まれ！ジュニア会員！！…………… 10-25- [ ]
- リレーコラム：シンプルな将来を考える…………… 10-26- [ ]
- 買い物自慢：デジカメの代わりに Huawei のスマホを買ってみた…………… 10-27- [ ]
- 連載：先生、質問です！…………… 10-28- [ ]
- 連載漫画：IT日和…………… 10-29- [ ]
- 会議レポート：SANER 2019 会議報告…………… 10-30- [ ]
- 会議レポート：Augmented Human 2019 会議報告…………… 10-31- [ ]

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 ..... 11-1- [ ]  
 [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]  
 [11-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 11-3- [ ]  
 a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
 [12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 12-3- [ ]  
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] グローバルに活躍する：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]  
 [13-2] ワークライフバランス：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

[14] 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

### ■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可，著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，アクレディテーション対応
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアジャパン，その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
<b>■ 管理部門</b>			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部門	問合せフォーム <a href="https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html">https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html</a>		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="https://www.itscj.ipsj.or.jp/">https://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

本特集では、組込みシステム研究会 (SIGEMB) で 2018 年度に開催した APRIS2018 でのパネルおよび、ロボット教育を中心にお伝えした。SIGEMB は 2017 年度に試験的に英語でのワークショップ ESW2017 を開催し、本特集の「海外への道」を執筆いただいた井倉将実氏に講演いただいた。その内容が大変興味深く、海外で活躍する日本企業の方々の実際をお知らせしたいと願い、本特集を企画した。APRIS2018 の準備を進める中で、井倉氏をはじめとする日本人で駐在している皆様やタイ人の皆様と会話する機会を多数得ることができた。そのような経験を通し、編者自身の「海外で活躍できる学生像」が大きく変化した。編者の研究室においても、海外で勤務している卒業生は少なからずいるが、海外勤務を現在よりも特別なこととして捉えていた。

APRIS2018 の開催の発端は、SIGEMB で活躍する研究者から、SIGEMB 主催の国際会議を開催したいという意見が多く寄せられたことにある。上記の ESW2017 は 2016 年から準備を始めた。特別企画の APRIS ロボットチャレンジは、2004 年から国内で実施してきた ESS ロボットチャレンジの国際会議版であるが、実は、2011 年頃から井倉氏から、タイでやってみようというお話をいた

だいていた。このような構想・準備期間を得て、さまざまな条件が揃い開催することができた。一番重要な条件は、やはり、モチベーションの高い仲間が集い協力し合えたことだと思う。

開催準備は、IEEE や ACM 等の既存の国際会議の委員とは随分と勝手が違った。既存の国際会議では、目的が十分に共有され、恩恵も明確である。ゼロから立ち上げるには、目的や恩恵の共有から始めなければならない。準備のために日本側から 2 回、タイ側から 1 回、各々の国を訪問した。このような直接の往来はきわめて重要だった。また、SNS はコミュニケーションの手段として非常に役立った。会議の準備は労を要したが、手作りの国際会議であったため、学生を教育するための仕組みをタイ側と双方で議論し入れることができた。現在 2019 年 11 月 1 日～ 4 日に開催予定で APRIS2019 の準備を始めている。学生に加え、参加する教員や研究者が、より海外の方々とコミュニケーションをとれる会議にしていきたいと考える。最後に、読者の皆様が、本特集を通し「海外で働く」ことをより身近に感じていただければ幸いである。

(渡辺晴美／本特集ゲストエディタ)

全国大会で行われた「来たれ！ ワークライフバランス伝道師」で発表していただいた内容を、今回改めて 7 名の方に執筆していただきました。

大学教員の小町守さんにはワークライフの変化に伴う生活のノウハウを、企業で研究者として働く松本亮介さんには家族との時間を大事にしつつ生活を効率良く回すためのノウハウを紹介いただきました。チームとして生活の体制を冗長化することで高い生産性を維持したり、時間あたりの「スキル」を捉え直すことでタスク処理を改善できることが分かりました。沖縄でリモートワーク勤務する大城佳明さんには、焦点があたりにくい独身のワークライフバランスを紹介いただきました。会社の就業規則を見直して、自分の豊かな生活のための仕組みを見直す。それによって仕事仲間とのかかわり方、働き方を良くしたいです。企業で働く徳應和典さんは、家族に対する気持ちの伝わる内容の濃いお話を執筆いただきました。祖母と過ごす時間を大切にするために働き方を変えるのは大変だったと思います。将来誰でも経験する可能性のある介護は、人間の人生に大きくかかわってくる問題。まだまだたくさんの方の知見が必要だと思います。テレワーク研究に携わる吉見憲二さんは、ワークライフバランス問題を俯瞰し、議論する際に配慮すべき点を示しました。会社内でのタスクのしわ寄せ、託児所に対応できない病児保育、介護問題など……。そして研究者として疲弊しながら働く人々や、そもそも研究

者として活躍できない人々のことも直視すべき問題です。3 人の子育て中の五十嵐悠紀さんには、大学で研究を続けながら育児を実践している様子を紹介いただきました。この暮らしの中では、どうしても子連れで出張し学会に参加することが避けられません。そこでは制度よりも空気感が支えになるそうです。大学教員の鈴木優さんも、子連れで学会に参加することになったひとりです。それも急な家族の病気によるため、ほとんど準備もできずという状況でした。学会には子連れで参加できる制度が整っていないところもまだ多く、制度があっても利用ができない状況だったりします。まだ多くの事例が必要なのかもしれません。

いずれも個人によって事情や状況がかなり異なることが分かりました。私たちはいつどのように困った状況に陥るか分かりません。いざというときにどうすればよいのか知っておくためにも、今回紹介した事例は有用だと思います。そしてワークライフバランスを制度化し困った状況を変えていくことも必要ですが、私たちが真っ先に取り組まないといけないのは、困っている人に柔軟に寄り添う空気感を作ることかもしれません。

来年の本会全国大会でも同様のイベントを企画しています。あなたのお話も聞かせてもらえませんか。ご連絡お待ちしております。

(木塚あゆみ／本特集ゲストエディタ)

複写される方へ

一般社団法人情報処理学会では複写複製および転載複製に係る著作権を学術著作権協会に委託しています。当該利用をご希望の方は、学術著作権協会 (<https://www.jaaccc.org/>) が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請ください。

高、本会会員（賛助会員含む）および著者が転載利用の申請をされる場合については、学術目的利用に限り、無償で転載利用いただくことが可能です。ただし、利用の際には予め申請いただくようお願い致します。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル  
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。  
Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

Information Processing Society of Japan authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights and reuse rights of copyrighted works. If you wish to obtain permissions of these rights in the countries or regions outside Japan, please refer to the homepage of JAC (<http://www.jaaccc.org/en/>) and confirm appropriate organizations.

You may reuse a content for non-commercial use for free, however please contact us directly to obtain the permission for the reuse content in advance.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
E-mail: info@jaacc.jp  
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み .....

■ 広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)	
差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4変形判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm  
 1/2頁 天地120mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求 .....

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 60巻8号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース ..... 表2                       フォーラムエイト ..... 前付最終  
 オーム社 ..... 表2対向  
 とめ研究所 ..... 目次前上                       すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 - ) \_\_\_\_\_

TEL ( ) - FAX ( ) -

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。  
 Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
 各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world  
**NEC**

日本電気 (株)

**MITSUBISHI ELECTRIC**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

**CyberAgent.**

(株) サイバーエージェント

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

**RECRUIT**

(株) リクルート

**Google**

グーグル合同会社

**docomo**

(株) NTT ドコモ

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**NTT**

日本電信電話 (株)

**Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

**FORUM 8**  
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**TTC**  
Telecommunication  
Technology  
Committee

(一社) 情報通信技術委員会

**NTT DATA**

(株) NTT データ

**GREE**

グリー (株)

**Rakuten**  
Institute of Technology

楽天技術研究所

**IA japan**

(一財) インターネット協会

**ISA**

情報サービス産業協会

**TREND MICRO**

トレンドマイクロ (株)

**NTTコムウェア**

NTT コムウェア (株)

**NTTテクノクロス**

NTT テクノクロス (株)

**uejima**

(株) うえじま企画

**OKI**

沖電気工業 (株)

**Canon**  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
キヤノンマーケティングジャパン (株)

**CMS CORE MICRO SYSTEMS INC.**

コアマイクロシステムズ (株)

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SEPTENI**

(株) セブテーニ

**SONY**

ソニー (株)

**team Lab**

チームラボ (株)

**TECHNOPRO Design**

(株) テクノプロ  
テクノプロ・デザイン社

**Panasonic**

パナソニック (株)

人と音楽の新しい関係をデザインする。  
**レコチョク**

(株) レコチョク